

令和3年度 研究部事業報告

1 活動方針

- (1) 「生きる力を育む教育の創造」を目標として、自主性・創造性を重視し、教育専門職としての使命感に立ち、本市教育の充実と発展に努める。
 - ア 各校の教育活動を支援・助成する。
 - イ 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、「創意工夫を生かした特色ある学校づくり」「知・徳・体の調和を重視する教育の推進」「一人一人を大切にされた教育の推進」に努める。
 - ウ 学校・家庭・地域社会との連携を深めるとともに、いじめ・不登校・児童虐待等の問題の根絶を最重要課題として「三層情報環流方式」の機能化を図る。
- (2) 愛媛県教育研究大会、八幡浜市教育研究大会（市教研）、各種指定校の研究等を通して、教育専門職としての資質・能力の向上を図るとともに、多様な研究を意欲的・積極的に推進する。
 - ア 第12期の研究の成果と課題を確認・共有するとともに、第13期2年サイクルの研究推進について周知し、自校の研究推進について計画を立てるとともに、八幡浜支部の教育体制を生かした、各校のさらなる研究の推進に努める。
 - イ 八幡浜市教育研究大会を助成するとともにブロック別研究の一層の推進に努める。
 - ウ 研究サークル（同好会）の育成に努め、多様な教育研究活動の充実を図る。
 - エ 教育研究論文の応募に対し、積極的に支援・助成する。

2 事業内容

事業内容
教科・教科外・同好会等研究助成 （基本助成と内容助成）
文科省、県、市等研究指定校助成
研究発表校（自主発表会）助成
自主教育研究活動（研究論文）助成

(1) 研究指定校（文部科学省・県・市等 指定）

- 環境教育推進事業[R3・4年度] 松柏中
- 管内複式学級担任者研修会[R3年度] 川上小
- ブロック別研究[R3・R4・R5年度]
保内ブロック（喜須来小、宮内小、川之石小、日土小、保内中）

(2) 教育研究推進

月	日	支部活動	市教研	県活動
4	21 27	第1回支部局長会 教科・教科外部長会	教科・教科外部長研修会	教科・教科外委員長名簿のみ提出
5	12 14 17 19 19 20	第1回局・部長会(オンライン) 理事会(オンライン)	第1回市教研企画会 第1回市ブロック別研究会	県教科等委員長会→中止 第1回支部研究部長会(オンライン)
6	10 14 17 23	第2回支部局長会	第1回市教育研究集会	第2回支部研究部長会 第1回常任研究部員会
7	26			第2回常任研究部員会
8	4 24	各部会等の研修(夏季休業中)	第2回教科外部会(実技研修等) 教育講演会	県教育研究大会(統一大会) 第3回支部研究部長会
9		第3回支部局長会		
10	22		第2回教科外部会(授業研究)	
11	11		第2回教科部会(授業研究)	
12	3 17	研究論文締切り(支部)		第3回常任研究部員会
1	7 14 28	第4回支部局長会	市ブロック別研究(研究のまとめ) 市教研推進の反省と希望調査	教育研究論文締切り(県) 第4回支部研究部長会(オンライン)
2	14 15 25	研究のまとめ(各校)	第2回市教研企画会 第3回市教研企画会 各部会・ブロック別研究報告書提出(市教委へ)	第4回常任研究部員会
3	3 8 25	第2回局・部長会 理事会並びに代議員会 第5回支部局長会		

3 今年度の反省と来年度への志向

- 教科部会・教科外部会・研究指定校等への研究助成が計画どおりでき、それぞれ有効に活用できた。
- 研究論文執筆者2名への研究助成ができた。来年度、より多くの論文応募者ができることを期待したい。
- コロナ禍によりオンラインによる会議が増えてきたが、オンラインでも有効な話し合いができた。
- 研究会や研修で、オンラインやホームページなど新しい形での開催が多くなったが、そういった会へも積極的に参加できるような取組を考えたい。